大島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	卒業研究	
科目基礎情報							
科目番号	0093			科目区分 専門 / 必修		修	
授業形態	実習			単位の種別と単位数	数 履修単位:	履修単位: 8	
開設学科	情報工学科			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	8	8	
教科書/教材	材						
担当教員	岡村 健史郎,石原 良晃,杉野 直規,山田 博,北風 裕教,橘 理恵,松村 遼,堤 康嘉						
到達目標							

- (1)専門教育の仕上げとして、情報工学の基礎知識をもとに課題に対して自ら計画を立て、継続 的に研究や開発を行うことができる能力を養う。 (2)計算機などを用いて情報の収集・整理を行うことができ、課題に対して、これまで学習してきた専門分野における基礎知識より自分の考えを まとめることができる。 (3)課題の問題に対して他者と討論し、複数の解析手法を考案し、その中から最適なものを示す能力を身につけ、システムを確立することができ (3)課題の問題に対して他者と討論し、複数の解析手法を考案し、その中から最適なものを示す能力を身につけ、システムを確立することができ
- る。 (4)研究成果について的確に発表を行い、論文にまとめ上げる能力を身に付けることを目標とする。

ルーブリック

70 2272							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1	自ら計画を立て、継続 的に研究や 開発を行うことができる。	継続 的に研究や開発を行うことができる。	継続 的に研究や開発を行うことが できない。				
評価項目2	情報の収集・整理を行うことができ、自分の考えをまとめることができる。	情報の収集・整理を行うことがで き、まとめることができる。	情報の収集・整理を行うことがで き、まとめることができない。				
評価項目3	他者と討論し、複数の解析手法を 考案し、その中から最適なものを 示す能力を身につけ、システムを 確立することができる。	他者と討論し、解析手法を考案し、システムを確立することができる。	他者と討論し、解析手法を考案し、システムを確立することができない。				
評価項目4	研究成果について的確に発表を行い、論文にまとめ上げることができる。	研究成果について発表を行い、論 文にまとめ上げることができる。	研究成果について発表を行い、論 文にまとめ上げることができない 。				

学科の到達目標項目との関係

JABEE J(04) JABEE J(05) JABEE J(06) JABEE J(07) JABEE J(08) JABEE J(10) 本校 (1)-a 本校 (1)-b 本校 (1)-c 情報 (4)-a 情報 (4)-b 情報 (4)-c

教育方法等

概要	各担当教員より指示されたテーマについて研究をおこなう。
授業の進め方・方法	各担当教員の指示に従う
注意点	・研究テーマについては、先だって行われるガイダンスにおいて各教員と相談のうえ決定する。 ・研究においては、できるだけ自主的に問題を解決し、応用力を養うと同時に各自責任をもってテーマに取り組む。 ・中間発表会および卒業研究発表会を実施する。 ・研究日誌と月報および英語によるサマリー(500ワード)は、卒業論文と合わせて期限までに提出すること。

授業計画

1又未引	<u> </u>			
		週	授業内容	週ごとの到達目標
		1週	ガイダンス	各卒研室における研究説明
		2週	テーマ周辺の基礎知識の習得	研究テーマの背景、基礎知識、目的などを学習する
		3週	テーマ周辺の基礎知識の習得	研究テーマの背景、基礎知識、目的などを学習する
		4週	テーマ周辺の基礎知識の習得	研究テーマの背景、基礎知識、目的などを学習する
	1stQ	5週	テーマ周辺の基礎知識の習得	研究テーマの背景、基礎知識、目的などを学習する
		6週	テーマ周辺の基礎知識の習得	研究テーマの背景、基礎知識、目的などを学習する
		7週	研究計画の立案	問題解決のための調査、実験、解析、開発の計画を立てる。
		8週	研究計画の立案	問題解決のための調査、実験、解析、開発の計画を立てる。
<u></u>		9週	研究計画の立案	問題解決のための調査、実験、解析、開発の計画を立てる。
前期		10週	データ収集/システム開発	実験、計測等により数値データを収集する。文献調査 、システム開発を行う。
		11週	データ収集/システム開発	実験、計測等により数値データを収集する。文献調査 、システム開発を行う。
	2ndQ	12週	データ収集/システム開発	実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。
		13週	データ収集/システム開発	実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。
		14週	データ収集/システム開発	実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。
		15週	データ収集/システム開発	実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。
		16週		
		1週	データ収集/システム開発	実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。
後期	3rdQ	2週	データ収集/システム開発	実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。
		3週	考察	得られた結果の工学的分析や数理手法を用いての解析 および考察

		4週	考察			得られた結果の工業 および考察	得られた結果の工学的分析や数理手法を用いての解析 および考察			
		5週	中間発表			研究成果をマルチン	研究成果をマルチメディア機器を用いて口頭で発表す る。			
		6週	データ収集/システ	- ム開発			実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。			
		7週	データ収集/システム開発				実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。			
		8週	データ収集/システム開発			実験、計測等により、システム開発を行	実験、計測等により数値データを収集する。文献調査 、システム開発を行う。			
		9週	データ収集/システム開発				実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。			
		10週	データ収集/システム開発				実験、計測等により数値データを収集する。文献調査、システム開発を行う。			
		11週	考察			得られた結果の工き および考察	得られた結果の工学的分析や数理手法を用いての解析 および考察			
	4thQ	12週	考察			得られた結果の工 ^会 および考察	得られた結果の工学的分析や数理手法を用いての解析 および考察			
		13週	卒業研究報告書の作成			研究の背景、目的、 してまとめる。	研究の背景、目的、内容、結果、考察などを報告書と してまとめる。			
		14週	最終発表			研究成果をマルチン る。	研究成果をマルチメディア機器を用いて口頭で発表す る。			
		15週	卒業研究報告書の作	成		研究の背景、目的、 してまとめる。	研究の背景、目的、内容、結果、考察などを報告書と してまとめる。			
	16週									
評価割合	<u> </u>			<u>, </u>						
	論:	文・成果物	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計		
総合評価割	合 80		20	0	0	0	0	100		
基礎的能力	0		0	0	0	0	0	0		
専門的能力	0		0	0	0	0	0	0		
分野横断的能力		<u> </u>	20	0	0	0	0	100		